

「職場体験・インターンシップ」 実施の手引き



令和2年3月
徳島県教育委員会

I 「職場体験・インターンシップ」とは

【 職場体験 】

生徒が企業や事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

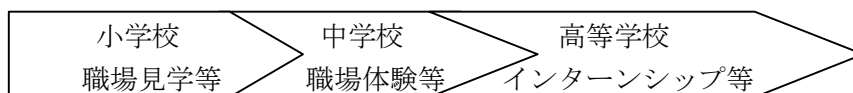
【 インターンシップ 】

生徒が一定期間、自らの専門分野や将来の進路に関連した企業や事業所等において、実際に就業体験を行う活動です。

初等中等教育段階における学習指導要領において、小学校・中学校・高等学校における児童生徒の発達の段階に応じた系統的な体験活動として位置付けられています。

中でも、中学校における職場体験は、小学校での職場見学等から、高等学校でのインターンシップ等へと体験活動を系統的につなげていく上で、重要な役割を担っています。

※職場体験活動の系統的な流れ



II 「職場体験・インターンシップ」が求められる背景と課題

本県では、令和元年度から令和4年度までを推進期間とする新たな「徳島教育大綱」を策定し、「未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる『人財』の育成」の実現に向け、予測困難な時代を主体的に考え、生きぬく力を育成するとともに、一人一人の社会的・職業的自立に向けた能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育を推進しています。

平成31年3月策定の「徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ『とくしまの未来を切り拓くキャリア教育』」では、これまでの成果と課題について、「中学校の職場体験、高等学校のインターンシップ共に実施率向上をはじめ、職業人による出前授業等による社会との接続を意識した取組が充実してきているが、様々な体験が一過性とならないよう、例えば、職場体験等では、受入れ事業所と趣旨の共有を図り、学校と事業所とが相互理解を進め、事前指導・事後指導や実施日数や内容等についてもなお一層充実させる必要がある。更に、学校外で実施される体験的な活動についても、時期や内容の周知を含め、地域・地元企業等と連携した取組が必要である。」と示しています。

このことを踏まえ、各学校においては、職場体験・インターンシップのねらいを明確化するとともに、受入れ事業所との連携を密にして、活動内容の充実を図る必要があります。学校と企業・事業所等の両者の共通理解のもと、キャリア教育が一層充実していくことが求められています。

Ⅲ 「職場体験・インターンシップ」で期待される効果（学校編）

生徒への効果

- 働くことへの理解や大切さ、喜びを実感することにより、しっかりとした勤労観や職業観を身に付けることができる。
- 体験等を通して日々の学習の意義を再認識し、学校の学習と職業との関係について理解を促進することができる。
- 仕事する上で必要な知識・技術・資格等についての理解が深まる。
- 多くの職業人と出会うことで、コミュニケーションの大切さを学ぶことができる。
- 社会人として必要な、挨拶やマナー、ルールなどを認識することができる。
- 自己理解や自己肯定感の向上につながり、自らの進路について考えることができる。
- 地元企業等をはじめ地域への理解が深まり、地域への愛着心の醸成につながる。

学校への効果

- 学校・地域間連携が促進される。
- 企業活動や企業が求める人材像について、理解が深まる。
- キャリア発達を促進する視点から、3年間を見通した系統的な実施計画の作成につながる。
- 将来の職業意識の向上につながる教育活動への見直しの機会となる。
- 教員の意識改革や、学校におけるキャリア教育の促進につながる。

家庭への効果

- 働くことを通しての家族間における会話の促進や地域の企業活動等に対する理解が深まる。
- 学校における教育活動への理解が深まる。
- 子供の働く姿から新たな一面を発見できる。

「職場体験・インターンシップ」を体験した本県生徒たちの声

- 将来働くためには、コミュニケーション能力が大切なことが分かった。
- 日々の学習の中で、正しい敬語の使い方をはじめ、社会人としての常識やマナーを身に付けることが大切である。
- 企業が女性が働きやすい職場を目指していることや、新人研修などの取組みが分かった。
- 毎日一生懸命に勉強することが、将来役立つことが分かった。
- 自分で考えて行動することが必要であることが分かった。
- インターンシップに参加するまでは、緊張したが、仕事とは何かについて学ぶことができた。
- 物事に取り組む時は、目標や目的を持つことが必要であることを痛感した。

IV 「職場体験・インターンシップ」で期待される効果（企業編）

- **産業界を担う人材の育成**

本県においては、地方創生に向けての施策等が加速しており、地域ぐるみで次代を担う人材の育成につながります。
- **企業等の認知度の向上**

受入れをしていただくことで、企業等の概要や、事業内容及び開発商品等への理解やPRにつながります。
- **職場の活性化**

社員が社会貢献を意識することでモチベーションが上がるとともに、子供たちとの関わりを通して、新たな視点で職場を見直すことにつながります。
- **教育への参画を通しての社会貢献**

子供たちの「職業観・勤労観」の育成に向けて、教育活動に参画いただくことが社会貢献となり、企業等のイメージアップにつながります。
- **学校教育への理解**

受入れを通して、学校における教育活動の理解が深まるとともに、複数回の受入れにより発達段階に応じた子供たちの意識や成長を実感することができます。
- **学校・地域間連携の推進**

子供たちが地域の企業等で学習し、多くの方々と触れ合うことで、子供たちの地域への愛着に向けての意識が高まります。
- **キャリア教育への理解**

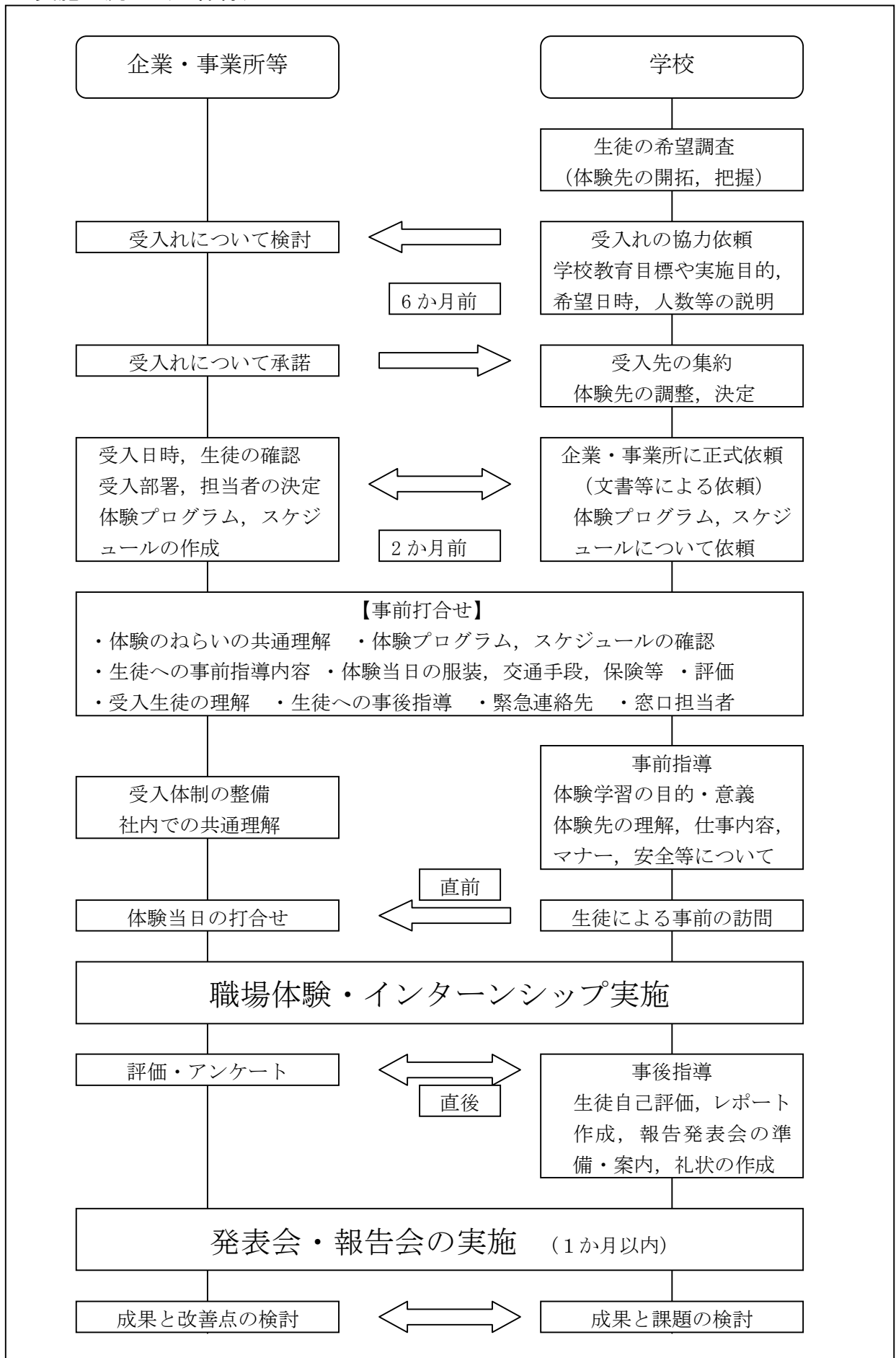
子供たちに、キャリア教育で身に付けさせたい能力・態度を、受入れを通して意識していただくことで、本県が目指すキャリア教育の理解につながります。

「職場体験・インターンシップ」の本県における事例

- 中学校が行う職場体験活動報告会において、受入れ事業所のほか、進学先の高校生や中学校区の小学6年生を招くなど、小学校・高等学校と連携して取り組んでいる学校もあります。
 - 地域の企業や産業を知るといふねらいで、課題探究型の学習活動の一環として、職場体験活動やインターンシップを行う学校もあります。
 - 自分で実習先を見つけ自分で受入れの交渉をする「セルフプロデュース・インターンシップ」を行う学校もあります。
 - 学校設定科目「長期インターンシップ」の授業の一環としてインターンシップを行う学校もあります。
 - 大学進学者が多い高等学校普通科においても、大学卒業後の就職や大学での資格取得を見据えた、看護師や医師体験等への参加（いわゆる「アカデミック・インターンシップ」）により、インターンシップを推進しています。
- ※学校教育法施行規則第98条等の規定による「学校外学修」として、インターンシップを実施することも可能です。実施に当たっては、学校外学修の種類、態様等に応じてオリエンテーションの実施、活動計画書の提出、活動レポート等による成果の報告など、事前・事後の適切な指導が望まれます。

V 「職場体験・インターンシップ」の実施について

1 実施の流れ（全体像）



2 実施に向けて留意するポイント（学校編）

（1）企業への協力依頼

職場体験やインターンシップの実施に当たり、受入先企業等から「学校のねらい、求めるものがよくわからない、何をさせればよいのかわからない」という戸惑いの声が聞かれます。

効果的な学習にするためには、職場体験やインターンシップを実施する意義やねらいをしっかりと受入先企業等に理解していただき、相互間の信頼を深めることが大切です。

そのねらいを基盤とし、スケジュール等の全体の構想・計画を作成することで、より質の高い職場体験やインターンシップを実施することができるとともに、企業の考えを理解することで、目的のミスマッチの解消につながります。

※参考

【職場体験スケジュール】

例〈製造業の場合〉

1日目	2日目～最終日前日	最終日
<ul style="list-style-type: none">・企業代表者によるあいさつ・オリエンテーション・自己紹介・安全教育等の諸注意・製品、製造工程見学・軽作業、作業場の清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・安全確認・軽作業・出荷、箱詰め作業・作業場の清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・安全確認・軽作業・製品チェック作業・作業場の清掃・体験全体の振り返り

【インターンシップスケジュール】

例〈販売業の場合〉

1日目	2日目～最終日前日	最終日
<ul style="list-style-type: none">・企業代表者によるあいさつ・オリエンテーション・自己紹介・店舗見学・挨拶、接客マナー研修・業務内容の確認・商品補充、陳列、清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・打合せ・就業体験 接客、袋詰め、包装等・清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・打合せ・就業体験・清掃・体験終了のあいさつ・反省会

（2）生徒への事前指導

職場体験やインターンシップが一過性の行事にならないように、事前指導を充実させることが大切です。

事前指導では、生徒がその意義やねらいを十分に理解し、自分なりに目標を持って臨むことができるように指導することが重要であり、事前学習と事前準備に分けて行うことが必要です。



指導項目

□ 趣旨の説明

「職場体験・インターンシップ」の意義・目的について、生徒が勤労観や職業観を意識できるように理解させるとともに、アルバイトと仕事の違いについて認識させます。

□ 職業人・社会人による講演会

専門的な知識や技能を持つ職業人や社会人に講演していただくことにより、業種・職業への理解や、「働くことの意義や大切さ、厳しさ、楽しさ、喜び」、ビジネスマナー等への理解を深めさせ、社会とのつながりを意識させます。

□ 生徒による企業研究

職種・業種や、受入先の企業等に関して理解を促すために、情報機器を活用し、情報収集や情報検索を実施します。

また、身近な職業人に対して、職業に関するインタビューを行うことを通して、働くことへの意欲を喚起させます。

□ 挨拶、マナー・礼儀、服装、姿勢、身だしなみ、電話のかけ方等の指導

職業人・社会人によるビジネスマナーの講習等の実施とともに、学校の日常生活の中で、挨拶等が仕事をする上でなぜ大切なのかなど、社会生活の中の意義を認識させます。

□ 受入先企業等との打合せ

生徒が事前に受入先企業等の担当者と打合せを行う場合は次のような点について確認させます。

- ① 「職場体験・インターンシップ」の日時、体験・仕事(就業)内容
- ② 「職場体験・インターンシップ」体験中の服装
- ③ 出勤時刻・退社時刻・集合場所
- ④ 体験、仕事(就業)時間中の規則
- ⑤ 自転車等の置き場について
- ⑥ 「職場体験・インターンシップ」期間中の昼食

□ 受入先企業等の情報

体験学習中に知り得た企業等の情報は、家族を含めて他人に口外しないよう注意を促します。また、無断で写真撮影しSNS等に投稿することのないよう指導することも必要です。

(3) 「職場体験・インターンシップ」期間中の配慮

「職場体験・インターンシップ」は、生徒が学校を離れて行う学習活動であるため、担当教員等は事前に受入先企業等を訪問し、体験活動中の留意点について確認しておくことが必要です。また、期間中においても緊急時等の対応をより円滑に進めるために、担当教員等による受入先企業への訪問が必要です。

配慮事項

□ 受入先企業等を積極的に訪問し、生徒の様子を確認

慣れない人間関係の中で体験している生徒に声をかけることにより、生徒が安心するとともに、仕事や職場の慣れによる気のゆるみや注意力の低下による事故を未然に防ぐことができます。

また、一人一人の様子を確認することにより、その後の個別指導や、事後の指導、評価に役立ちます。

□ 担当者とのコミュニケーションを図る

地域や企業等とのコミュニケーションを広げる機会になるとともに、次年度以降の実施に向けても相互理解を深めることにつながります。

□ 生徒に対する適切な助言や指導を依頼

「職場体験・インターンシップ」が一過性の行事にならないように、趣旨やねらいに即したアドバイスをいただくことにより、貴重な学習の機会となります。

□ 緊急時の連絡体制を確立

生徒の不注意による事故や予期せぬ事故、さらに体調不良により応急処置が必要な場合や気象警報が発表される場合も想定されます。

そのような場合において速やかに生徒・学校、学校・企業間で連絡し合える体制を整えておくことが必要です。

実施期間中の予期せぬ事故等に備えて、財団法人産業教育振興中央会等が実施している体験活動賠償責任保険制度の利用を考慮しておくことも必要です。

(4) 生徒への事後指導

「職場体験・インターンシップ」終了後においては、受入先企業等に礼状を書かせる直後の指導が必要であるとともに、自己評価シートを活用し、自らの特性や生き方についてみつめさせ、進路選択につなげていくための指導が大切です。

指導項目

□ 生徒による礼状の作成

受入先企業等に感謝の気持ちを伝えることで、期間中に学んだことの振り返りや、手紙の技法について学ぶことができます。

□ 「職場体験・インターンシップ」日誌等の提出

体験のまとめとして提出させることにより、生徒の体験中の様子や、職業や働くことへの理解や関心が高まったかどうか、目標が達成されたか否かを確認・評価することに役立ちます。

□ 発表会・報告会の実施

体験をその後の学習に生かすには、自らの体験を振り返らせ、内面の変化を認識させることが大切となります。その方法として、体験したことをまとめたり発表したりする機会を設定することは効果的であり、受入先企業等の方々や保護者を招いての発表会の実施は、地域社会との連携を深めます。

※発表会に向けての準備物（例）

- ・発表資料の作成
- ・スライドによるプレゼンテーション



(5) 「職場体験・インターンシップ」の総括

活動終了後は、学校として活動のまとめをすることが必要であり、成果と課題を検証し、次年度に向けての課題設定を行うことが大切です。

総括としての取組

□ 受入先企業等へ礼状, アンケート等を送付

学校として、校長名で礼状及びアンケート等を送付することにより継続的な実施につながります。

□ 受入先企業等担当者との報告会の実施

受入先企業等に対して、活動終了後に成果と課題を報告することが必要です。また、報告会の案内をすることにより、学校教育への理解も深まり、相互の信頼関係が構築されます。

□ キャリアカウンセリングの実施

活動のレポートや発表会だけで終わらせないように、生徒の今後の進路選択に結び付ける機会を作っていくことが大切です。生徒と活動から学んだことを共有し、自己の適性やこれからの目指す方向性を共に考えていくことにより、生徒が目的意識を持って進路決定を行うことができる意識の醸成につながります。

□ 学校ホームページ等に掲載

体験中の様子や発表会等の取組を発信することにより、家庭や地域において学校の教育活動への理解や協力が深まります。

【参考】

※ 「職場体験・インターンシップ」を受け入れている本県企業等からの声

- 学校から職場体験の依頼が来るが、何をやらせればよいのか。何を目的としているのか、よく分からない。
- 受入れのための人的余裕や資金的余裕がない中、本県に貢献できる人材を育成するために受け入れている。
- 学校においてもっと社会人として身に付けておくべき常識も教えてほしい。
- 挨拶やマナー等の基本的な生活習慣をしっかり指導してほしい。
- 学校の教育活動の中で、忍耐力やチャレンジ精神を身に付けてほしい。
- 事前に学校において、受入先企業等を調べさせたりして、体験に向けての意欲を喚起させてほしい。

※ 「職場体験・インターンシップ」受入先企業情報について

徳島県教育委員会では、平成26年3月に、徳島県立総合教育センターのホームページ上に「職場体験・インターンシップ」の受入先企業情報を閲覧できる「あわ教育サポーター企業等検索サイト」を構築していますので、御活用ください。

3 実施に向けて留意するポイント（企業編）

（1）生徒の職業的（進路）発達課題への理解

人の成長・発達の過程には、節目となる発達の段階があります。

「職場体験・インターンシップ」の実施においては、各発達段階の違いを理解し、生徒への指導や支援をいただくことにより、職業人・社会人として必要なコミュニケーション能力をはじめ、挨拶等のマナーの向上、働くことの意義や喜び、厳しさについての理解が深まり、職業や仕事についての関心・意欲が高まります。

【中学生・高校生の職業的（進路）発達を促すために育成することが期待される能力・態度】

中学生	<ul style="list-style-type: none">・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める
高校生	<ul style="list-style-type: none">・自己の職業的能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする・異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる・社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し、習得する・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する

国立教育政策研究所「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」をもとに作成

（2）「職場体験・インターンシップ」のねらいの共有

職場体験やインターンシップの実施に当たり、受入先企業等から「学校のねらい、求めるものがよくわからない」という声が聞かれます。

効果的な体験学習にするために、職場体験やインターンシップを実施する意義やねらいを学校・企業間等で共通認識しておくことも必要です。

そのねらいを基盤とし、スケジュール等の全体の構想・計画を作成していただくことにより、より質の高い職場体験やインターンシップを実施することにつながります。

（3）「職場体験・インターンシップ」体験プログラム等の作成

実効性のある「職場体験・インターンシップ」の実施のために、生徒の実態に応じた体験プログラムやスケジュールの作成についてもお願いすることになります。



【作成における配慮が必要なこと】

※ 各企業・事業所等の実情に応じて配慮をお願いします。

- **受入れ目的を、社内で共通理解**
「職場体験・インターンシップ」が円滑に進むためにも、事前に関係する従業員の皆様に共通した理解をお願いします。
- **多くの仕事を体験**
企業等の組織や経営に関する理念を少しでも学ばせるために、できるだけ多くの仕事を幅広く体験させてください。
実情に応じては、生徒が従業員に影のように寄り添い、その仕事内容や職場の様子を観察するというジョブシャドウを体験する方法も有効です。
- **作業内容の希望収集と決定**
事前に生徒から将来の進路希望を聞いていただいたり、学校側に生徒の専門領域の履修状況を確認したりすることで、どの程度の作業をさせるかといった内容を決める時の参考になります。
- **生徒の安全面への配慮**
仕事を安全に体験できるように配慮をお願いします。

※参考

【職場体験スケジュール】

例〈製造業の場合〉

1日目	2日目～最終日前日	最終日
<ul style="list-style-type: none">・企業代表者によるあいさつ・オリエンテーション・自己紹介・安全教育等の諸注意・製品、製造工程見学・軽作業、作業場の清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・安全確認・軽作業・出荷、箱詰め作業・作業場の清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・安全確認・軽作業・製品チェック作業・作業場の清掃・体験全体の振り返り

【インターンシップスケジュール】

例〈販売業の場合〉

1日目	2日目～最終日前日	最終日
<ul style="list-style-type: none">・企業代表者によるあいさつ・オリエンテーション・自己紹介・店舗見学・挨拶、接客マナー研修・業務内容の説明・商品補充、陳列、清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・打合せ・就業体験 接客、袋詰め、包装等・清掃・振り返り	<ul style="list-style-type: none">・朝のあいさつ・打合せ・就業体験・清掃・体験終了のあいさつ・反省会

(4) 生徒に接する際のポイント

実際の職場では、生産性、正確さ、創造性、服務規律など様々な面において、学校よりはるかに厳しい姿勢が求められます。

「職場体験・インターンシップ」は、大人や社会とのつながりを実感できる体験であり、生徒の社会性を育む上で、期待が寄せられています。

体験期間中は、「働くことはどういうことか」、「挨拶やマナーの大切さ」、「仕事の大切さ・厳しさ・楽しさ・喜び」を意識させるように、生徒への関わりをお願いします。

□ 当日の対応

励ましの言葉や、頑張っているときは温かい言葉がけをお願いします。

間違いやミスについては、叱ってください。しかしその際には、個人の能力や人格を否定するような叱り方でなく、自ら気付かせ、その原因を考えさせるようにお願いします。

□ 職業社会におけるルールやマナー

職業社会においては、「挨拶」、「服装」、「言葉遣い」等の社会的マナーが求められます。

自己管理能力の育成のためにも、実際の職業社会において求められていることや、相手を意識したマナーの大切さを指導してください。

□ 世代を越えたコミュニケーション

職場での異年齢、年齢差の大きい大人との交流によって、生徒はコミュニケーション能力を身に付けることができます。

従業員へのインタビューをはじめ、昼食時や休憩時間においても交流できる機会の設定をお願いします。

(5) オリエンテーションにおいて指導してほしい主な内容

職場体験やインターンシップの初日に実施することで、生徒自身が目的や意義を確認できるとともに、体験に向けての意識の高揚を図ることができます。

【必要とされる内容】

- ① 企業・事業所の代表による挨拶
※ 社会的マナーである「挨拶」、「服装」、「言葉遣い」等がなぜ重要なのか、ビジネスマナーとしての「報告」・「連絡」・「相談」の重要性についてもお話してください。
- ② 会社概要や経営方針、業務内容の説明
- ③ 期間中の体験内容及び作業内容
- ④ 会社規則・ビジネスマナー、安全対策の確認
- ⑤ 配属部署、担当者の紹介
- ⑥ 体験の意義、目的の確認
- ⑦ 期間中のプログラム、スケジュールについて
- ⑧ その他企業・事業所側で必要と思われる諸注意
- ⑨ 企業・事業所見学



【参考例】

「職場体験・インターンシップ」事前打合せシート（生徒用）

事前打合せシート				
学校名		年	組	氏名
企業名				
企業所在地				
電話番号		企業担当者		
体験・就業日				
体験・就業時間	時 分 ～ 時 分 （ 時 分までに出社 ）			
集合場所				
仕事内容				
緊急連絡先				
規則等				
服装				
昼食				
交通手段	※自転車の場合は、置き場所を確認			
持参物				
その他				

※ 徳島県教育委員会学校教育課ホームページからダウンロードできます。

【参考例】

「職場体験・インターンシップ」自己評価シート（生徒用）

自己評価シート						
企業名		年	組	氏名		
評価項目				A	B	C
①	目標を持って仕事をすることができたか。					
②	積極的に集中して仕事をすることができたか。					
③	担当者の指示に従い仕事をすることができたか。					
④	休んだり遅刻したりせず、時間を守ることができたか。					
⑤	挨拶をしっかり行うことができたか。					
⑥	服装など身だしなみを整えることができたか。					
⑦	周りの方々と敬語を使って、コミュニケーションを取れたか。					
⑧	企業のルールを守りながら仕事があったか。					
⑨	分からないことは進んで質問することができたか。					
⑩	安全面に気をつけて仕事をすることができたか。					
※担当者からいただいたアドバイス						
※感想（学んだこと、学校生活に今後どのように生かしていくか等）						

A：よくできた B：できた C：あまりできなかった

※ 徳島県教育委員会学校教育課ホームページからダウンロードできます。

【参考例】

「職場体験・インターンシップ」評価シート（企業用）

※企業に依頼

評価シート					
学校名		生徒名	氏名		
企業名		担当者	氏名		
評価項目			A	B	C
①	目的意識を持って仕事をしていましたか。				
②	積極的に集中して仕事をしていましたか。				
③	担当者の指示に従い仕事をしていましたか。				
④	遅刻等なく時間を守っていましたか。				
⑤	挨拶をしっかり行うことができていましたか。				
⑥	服装など身だしなみをきちんと整えていましたか。				
⑦	敬語を使って、コミュニケーションができていましたか。				
⑧	ルールを守りながら仕事をしていましたか。				
⑨	分からないことは質問をしていましたか。				
⑩	安全面に配慮して仕事ができっていましたか。				
※ 「職場体験・インターンシップ」前後の生徒の変容で気付いた点をお書きください。					
※ 今後に向けての課題をお書きください。					

A：よくできていた B：普通 C：できていなかった

※ 徳島県教育委員会学校教育課ホームページからダウンロードできます。

「職場体験・インターンシップ」Q&A（企業向け）

Q 1 アルバイトとインターンシップの違いについて

A： インターンシップは教育活動の一環として実施されるものであり、報酬が伴うアルバイトとは目的が違います。企業や事業所までの交通費や昼食代、保険料等について、企業や事業所が負担する必要はありません。

Q 2 体験期間中の事故の対応について

A： 学校では、体験期間中の作業場での怪我や、賠償事故に備えるために「インターンシップ賠償責任保険」等に参加しています。
万一、事故が起きたときには、緊急の処置や対応をしていただくとともに、学校への連絡をお願いします。

Q 3 体験期間中の評価について

A： 学校では、事後指導において、体験期間中の企業・事業所からの評価を参考にしています。日誌等へのコメントや、学校から提出された評価シートへの記入をお願いします。

Q 4 気象警報発表時の実施について

A： 学校では、気象警報発表時の対応を定めています。朝の段階で警報が発表されている場合には中止や、体験時間帯に発表された場合には、その段階で中止ということもあります。中止の場合には、学校から連絡が入ります。

Q 5 個人情報に関する留意点について

A： 生徒の住所・氏名等の基本情報の取り扱いに注意していただき、体験の様子を会社等のホームページ等に掲載する場合には、学校に確認をお願いします。

Q 6 生徒を受け入れたい場合の連絡方法について

A： 徳島県教育委員会では、平成26年3月に、徳島県立総合教育センターのホームページ上に「職場体験・インターンシップ」の受入先企業情報を閲覧できる「あわ教育サポーター企業等検索サイト」を構築していますので、登録をお願いします。

連絡先：徳島県教育委員会学校教育課

TEL 088-621-3121